

プログラム 2 日目 1 月 29 日 (金)

シンポジウム 5

9:20~10:50

第 1 会場 (大ホール 1 階)

「災害等における救急対応」 ～過去の経験を踏まえ、救急対応を共有する～

座長 池田 光隆 熊本市消防局
アドバイザー 平出 敦 京都橘大学
石原 諭 兵庫県災害医療センター

SY5-1 多数傷病者発生時の救急指揮統制 ～尼崎列車事故の経験を活かして～

尼崎市消防局 関山 敬一

SY5-2 多数の傷病者が発生した刺傷事件における対応について

川崎市消防局 佐々木友三郎

SY5-3 エリア災害登録を活用した分散搬送

大阪市消防局 上村雄一郎

SY5-4 2つの局地災害経験を活かした救急対応

～関越自動車道高速バス事故・軽井沢スキーバス転落事故～

高崎市等広域消防局 甘田 明広

SY5-5 多数の死傷者が発生した火災での救急指揮体制 ～京都アニメーション火災の検証から～

京都市消防局 濱 亮太郎

総合討論

11:10~12:40

第 1 会場 (大ホール 1 階)

プロフェッショナル オートノミー

プロフェッション

「Professional Autonomyの確立に向けて」 ～病院前救護の Professionとして～

座長 有賀 徹 労働者健康安全機構
アドバイザー 高階謙一郎 京都第一赤十字病院
木澤 晃代 日本大学病院
荒井 勲 仙台市消防局

GD-1 プロフェッショナルオートノミーを意識した救急組織体制 ～取組により見えてきた効果～

堺市消防局 渡部 和也

GD-2 指導救命士が担う役割とその効果

千葉市消防局 新濱 秀樹

GD-3 地域 MC における救急救命士教育

小山市消防本部 菅原 康一

GD-4 救急統計データ分析から救急施策への反映 ～課題への挑戦～

名古屋市消防局 川口 了徹

GD-5 ヒヤリハット・インシデントレポートの運用とフィードバックによる効果

藤沢市消防局 海老 正夫

教育講演 4

9:20~10:50

第2会場 (小ホール 1階)

プロフェッショナル オートノミー

「Professional Autonomyの確立に向けた消防機関における救急教育体制のあり方」

司会 今岡 大輔 福井市消防局

EL4 プロフェッショナル オートノミー
Professional Autonomyの確立に向けた消防機関における救急教育体制のあり方

福井大学医学部附属病院 林 寛之

一般発表 2 2

11:10~12:40

第2会場 (小ホール 1階)

救急活動 4

座長 松本 光司 大阪狭山市消防本部

助言者 坂田 育弘 ベルランド総合病院

岡本 健士 枚方寝屋川消防組合消防本部

O22-1 リアルタイムフィードバックを用いたMC主催の集団災害訓練

河内長野市消防本部 多井中啓二

O22-2 「集団心理災害」を防ぐ意思決定の判断

枚方寝屋川消防組合消防本部 大原 圭

O22-3 特別救急隊（ドクターカー）として出動し、CPA事案における情報伝達を考察した結果

高槻市消防本部 長谷川明生

O22-4 化学損傷事案における洗浄について

池田市消防本部 山川 能典

O22-5 中学1年生の脳卒中症例について

東大阪市消防局 石原 聡

O22-6 1枚の紙で高齢者虐待や孤独死を防げ！

～救急隊から市・区役所へ繋ぐ情報シート～

堺市消防局 川岸 芳紀

O22-7 超高齢社会におけるプレホスピタルケアと人生最後の在り方について

守口市門真市消防組合消防本部 和田 晋司

一般発表 17

9:20~10:50

第3会場 (大スタジオ 2階)

感染防止対策3

座長 阪田 賢一 東大阪市消防局
助言者 藤見 聡 大阪急性期・総合医療センター
岬 大嗣 岸和田市消防本部

017-1 所轄救急隊独自で考案 ～コロナ禍における感染防止対策～

尼崎市消防局 田部 達也

017-2 感染症等の感染リスクを軽減させる簡易感染防止搬送用具の作成

横浜市消防局 福田 早紀

017-3 新型コロナウイルス感染症専用救急車の有効性について

東海市消防本部 竹内 謙太

017-4 救急搬送か？移送業務か？

新型コロナに係る宿泊療養施設における搬送体制の考察

知多中部広域事務組合消防本部 村井 義典

017-5 新型コロナウイルス感染対策がC P A傷病者対応に及ぼす影響について

大津市消防局 三原 崇裕

017-6 COVID-19 感染拡大に伴うC P A活動方針の策定方法と効果

河内長野市消防本部 中村 匡志

017-7 新型コロナウイルス感染症のC P A対応訓練～エアロゾル拡散の検証実験～

高崎市等広域消防局 神保 勝矢

一般発表 23

11:10~12:40

第3会場 (大スタジオ 2階)

調査・研究4

座長 神野 昌弘 忠岡町消防本部
助言者 中田 康城 堺市立総合医療センター
松井 秀樹 柏原羽曳野藤井寺消防組合消防本部

023-1 救急資器材の適正な管理による救急活動の質と向上について

大阪市消防局 岡本喜久雄

023-2 口頭指導技術の向上を目的とした教育訓練等の取組について

堺市消防局 大塚 広司

023-3 Few Inbound 地域での外国人対応

～訓練からみえた英語習得よりも重要なこと～

富田林市消防本部 山本 優

023-4 暑熱環境下での救急活動における冷却ベストの効果実証試験について

豊中市消防局 林山 博紀

O23-5 救命講習会から見えた課題と可能性
～バイスタンダーに求められる胸骨圧迫の質～

柏原羽曳野藤井寺消防組合消防本部 加藤 貴男

O23-6 タブレットを活用した少人数で実施可能な訓練方法の提案

河内長野市消防本部 南 民衛

O23-7 「大阪EMS研究会」18年間の歩み

大阪市消防局 三木 大輔

パネルディスカッション5

9:20～10:50

第4会場（多目的室 2階）

「救急統計データから対応策を導き出す」～様々な取組とその効果～

座長 桐原 保博 札幌市消防局
アドバイザー 浅井 隆 獨協医科大学埼玉医療センター
岡田 遥平 京都大学大学院

PD5-1 AIが救急出場を予測し救急車を適正配置する～現場到着時間の短縮をめざして～

名古屋市消防局 白神 英伸

PD5-2 ORIONによる緊急度判定が及ぼす救急活動時間への影響について

泉州南消防組合泉州南広域消防本部 月木 良和

PD5-3 GIS（地理情報システム）を用いて救急隊の配置計画について検討した結果

堺市消防局 日根野谷有宇己

PD5-4 データサイエンスによる救急需要予測とその活用～大学との共同研究効果～

横浜市消防局 伊志嶺美月

PD5-5 救急統計データを活用して、行政と連携し救急搬送時間短縮をめざす

高崎市等広域消防局 木嶋 浩之

参加型ケーススタディ3

11:10～12:40

第4会場（多目的室 2階）

「救急隊員のための心電図講座」～見極めのポイントはここだ！～

司会 清宮 崇文 さいたま市消防局

CS3 救急現場における電図読影のポイント

上尾中央総合病院 一色 高明

スキルトレーニング 3

9:20～10:45

第5会場（文化交流室 3階）

「感染防護服の着脱トレーニング」 ～飛沫・接触・空気感染を防ぐためのポイント～

司会	宮田 勝弘	堺市消防局
講師	森田 正則	堺市立総合医療センター
指導者	林 真美	堺市保健所
	山本 真司	堺市保健所
	樋本 克徳	堺市消防局
	古田 高志	堺市消防局
	平嶋 友貴	堺市消防局
	澤野 博一	堺市消防局
	上野 文也	堺市消防局
	山口 義則	堺市消防局
	山田 航太	堺市消防局

ST3 感染経路に応じた感染防護具の選択と脱衣の重要性

堺市立総合医療センター 森田 正則

スキルトレーニング 4

11:15～12:40

第5会場（文化交流室 3階）

「口頭指導」 ～通信指令員への教育・研修システム～

司会	新田 幸司	神戸市消防局
講師	北小屋 裕	京都橋大学
指導者	河合 信二	泉州南消防組合泉州南広域消防本部
	谷口 慶	和歌山市消防局

ST4 通信指令標準教育から学ぶ口頭指導トレーニング

京都橋大学 北小屋 裕

一般発表 18

9:20～10:50

第6会場（WEB）

救急資器材

座長	萬治 亮太	下関市消防局
助言者	北澤 康秀	近畿大学奈良病院
	津田 裕士	高槻市消防本部

O18-1 メインストレッチャーカーカバーを有効活用した感染防止対策の考案について

尼崎市消防局 神田佐登司

O18-2 「ストレッチャー用プライバシー保護カバー」の考案について

相模原市消防局 大田 貴広

O18-3 「救急車両用大型警戒表示板」の考案について

金沢市消防局 鈴木 翔太

018-4 「産・学・官」連携による止血固定の補助器具の開発

南さつま市消防本部 栗野 寛寿

018-5 救急隊の現場活動におけるIOT機器の活用方法と将来性について

佐倉市八街市酒々井町消防組合消防本部 鶴田 正博

018-6 搬送時間毎の効率的な保温方法の検証

川越地区消防局 住吉 結衣

018-7 消防広域化により発足した大規模消防組合における救急消耗品管理供給体制の構築

奈良県広域消防組合消防本部 安東 望

一般発表 24

11:10~12:40

第6会場 (WEB)

救急活動5 (特異症例・周産期)

座長 木村 佳正 柏原羽曳野藤井寺消防組合消防本部
助言者 入澤 太郎 大阪大学医学部附属病院
戸田 太 神戸市消防局

024-1 記録的な積雪の中で経験した中毒症例

加賀市消防本部 河中 拓郎

024-2 真冬に自宅内で転倒、中心性脊髄損傷にて起立不能となり偶発性低体温症を来した一例

栃木市消防本部 赤羽根 一

024-3 間接的に電撃症を負った事例

坂戸・鶴ヶ島消防組合消防本部 重野 雄大

024-4 汲み取り式和式トイレにて発生した墜落分娩

稲敷広域消防本部 太田 雅浩

024-5 未受診経産婦による628g超低体重墜落産

太田市消防本部 石関 祥吾

024-6 アトピー皮膚炎を既往症に持つ傷病者のアナフィラキシー鑑別症例

西はりま消防組合消防本部 山本 直弥

024-7 自動小銃による銃器発砲事例について

尼崎市消防局 根来 啓介

一般発表 19

9:20~10:50

第7会場 (WEB)

緊急度・重症度

座長 加藤 久夫 大東四條畷消防本部
助言者 林 靖之 大阪府済生会千里病院
山下 伸吾 倉敷市消防局

019-1 緊急度・重症度が高い傷病者を軽症と判断した事例調査から見た救急隊員教育のあり方

湖南広域消防局 木村 元信

019-2 緊急度重症度を共有するために ～share with everyone～

春日井市消防本部 高木 徳之

019-3 緊急でありながらも迅速ではない救急活動

埼玉県央広域消防本部 磯崎 雅彦

019-4 さいたま市緊急時救急トリアージの運用について

さいたま市消防局 高島 広宣

019-5 コールトリアージからプレアライバルコールへ移行し迅速に異物除去できた事案

ひたちなか・東海広域事務組合消防本部 木村 英樹

019-6 救急現場におけるショック指数の活用について

浜松市消防局 仲山 智士

019-7 トラウマバイパスの有効性について

鹿島地方事務組合消防本部 長岡 勇樹

一般発表 25

11:10～12:40

第7会場 (WEB)

教育 3

座長 山崎 泰宏 和泉市消防本部
助言者 安田 康晴 広島国際大学
藤巻 勇 高崎市等広域消防局

025-1 振り返りシートを活用した考える救急救命士の養成と課題

埼玉県消防学校 茅野 俊幸

025-2 新任救急資格者のプライマリーメソッド

東京消防庁 内田 章史

025-3 隊員個々の基礎知識習得の実態把握と不得意分野克服のための3ステップアプローチ

富山県東部消防組合消防本部 開田 達弥

025-4 過去の症例から学ぶ春日井市消防本部の取り組み
～inspire the next～

春日井市消防本部 中村 征

025-5 OODA (ウーダ) ループ思考を用いた救急活動

湖北地域消防本部 畑野 佳史

025-6 PA連携でのポンプ隊又は救助隊の先着時の対応訓練について

高崎市等広域消防局 佐藤 秀信

025-7 プレアライバルコール研修から得られる救急隊員教育の効果について

湖南広域消防局 岩井 基智

一般発表 20

9:20~10:50

第8会場 (WEB)

救急活動3 (内因性)

座長 谷 卓也 河内長野市消防本部

助言者 秋枝 一基 太田記念病院

尾村 保憲 広島市消防局

O20-1 ピットフォールの回避を目指した救急現場活動の検討

八代広域行政事務組合消防本部 宮村 一海

O20-2 服薬情報の大切さ 不整脈治療薬による徐脈発作を呈した事案について

川崎市消防局 小林 伸一

O20-3 予期せぬ転帰となったアルコール依存症、肝腎症候群の一例

蕨市消防本部 木村 剛

O20-4 典型的脳卒中症状を呈した高度房室ブロックの症例

～心電図判読と臨床推論の重要性～

北はりま消防本部 山本 佑気

O20-5 救急現場で遭遇する敗血症における、血中乳酸値の予測因子としての可能性について

東京消防庁 勝 健一郎

O20-6 不搬送事案から考察する今後の対応と関係機関との連携について

津市消防本部 西谷 昂

O20-7 救急現場における医師の指示について

大津市消防局 今井 徳彦

一般発表 26

11:10~12:40

第8会場 (WEB)

ドクターヘリ等

座長 河本 篤 豊岡市消防本部

助言者 中村 光伸 前橋赤十字病院高度救命救急センター

岩本 理 田辺市消防本部

O26-1 ドクターヘリ、救急隊及び防災航空隊が連携したアナフィラキシーショック事案について

愛知県防災航空隊 大竹 一功

O26-2 救急車内にて分娩した骨盤位の低出生体重児をサンダーバード作戦にて救命した症例

駿東伊豆消防本部 窪田 竣介

O26-3 ドクターヘリを要請した事案に対し直近の二次病院を救護所として利用した事案

利根沼田広域消防本部 川田 広明

O26-4 スキー場における外傷に特化したドクターヘリ要請基準の策定について

郡上市消防本部 上村 拓郎

O26-5 自衛隊ヘリと連携した救助事案

高崎市等広域消防局 今井祐二郎

026-6 消防防災ヘリを活用した医師の現場投入に向けて

富山県防災航空センター 高田 雄大

026-7 離島救急における消防救急艇「はるかぜ」導入に伴う有効性について

東近江行政組合消防本部 小中 賀智

一般発表 2 1

9:20~10:50

第 9 会場 (WEB)

調査・研究 3

座長 山中 慎也 相楽中部消防組合消防本部
助言者 竹中 ゆかり 救急救命九州研修所
追川 知巳 高崎市等広域消防局

021-1 救急隊員の観察と病院選定についての調査

鳥取県東部広域行政管理組合消防局 岡村 竜郎

021-2 大動脈解離に対するアンダートリアージ症例の要因を検討する

出雲市消防本部 江角 泰介

021-3 負傷者の体位はドクターカー覚知時要請のための重症外傷予測因子となりうるのか

岸和田市消防本部 一ノ瀬佳彦

021-4 船橋市ドクターカーでの C P A P 使用症例から検討した今後の課題と展望について

船橋市消防局 白鳥 昇

021-5 気管挿管が必要な救急現場において、躊躇なく処置を行うための考察

大津市消防局 大八木智人

021-6 気管挿管（喉頭鏡使用とビデオ硬性挿管用喉頭鏡を使用）の適応と実績、今後の展望

浜松市消防局 栗田 健吾

021-7 S T E M I に対するクラウド型病院前心電図伝送システムの有用性についての検討

宇城広域連合消防本部 浦田 公輔

一般発表 2 7

11:10~12:40

第 9 会場 (WEB)

調査・研究 5

座長 田縁 佳紀 吹田市消防本部
助言者 梶野健太郎 関西医科大学附属病院
佐々木隆広 仙台市消防局

027-1 先ず姿勢を正す ～力のモーメントと重心から負担を減らす搬送の科学～

神戸市消防局 増田 隆志

027-2 救急出場報告書から読み取る救急統計入力データの正確性とエラー項目の性質を探る

奈良県広域消防組合消防本部 柴田 広文

027-3 AI を用いた救急外来受診症例の入院予測及び救急活動への応用の可能性について

東京消防庁 廣瀬 拓郎

- O27-4** 喉頭摘出手術を受けた方を対象とした救命講習アンケート調査結果についての検討
仙台市消防局 渡部 広大
- O27-5** 訪日外国人における現場対応時の最適なコミュニケーションツールについて
駿東伊豆消防本部 長倉 聖弥
- O27-6** COVID-19 拡大で注目される体温 37.0℃以上の傷病者の、熱中症及び他疾患の違いを検討
白山野々市広域消防本部 高田 康平
- O27-7** 10年後の救急活動を見据える今後の展望
埼玉県央広域消防本部 桐敷 拓実